

国際会議

核・原爆と表象／文学

—原爆文学の彼方へ—

INTERNATIONAL CONFERENCE:
NUCLEAR TECHNOLOGY AND ITS LITERARY REPRESENTATIONS
—BEYOND ATOMIC BOMB LITERATURE—

2015.12.12 [SAT]・13 [SUN]

九州大学西新プラザ大会議室

(福岡市早良区西新2-16-23)

タイムテーブル TIMETABLE

12.12 [SAT]

- ▶13:00
開会の辞(趣旨説明) 川口 隆行(広島大学)
- ▶13:20 - 16:00
【セッション1 移動する原爆—文学】
司会／中谷 いずみ(奈良教育大学)
- 島村 輝(フェリス学院大学)
「投下する」側の「記憶」—2015年・日本からの再検証
- 齋藤 一(筑波大学)
核時代の英米文学者
—Hermann Hagedorn, *The Bomb that Fell on America* (1946)の
日本語訳(1950)について
- 松永 京子(神戸市外国語大学)
ジェラルド・ヴィゼナーの『ヒロシマ・ブギ』
—大田 洋子と「ネイティヴ・サヴァイヴァンス」
コメンテーター／吉田 裕(東京理科大学) 中野 和典(福岡大学)
- ▶16:20 - 17:50
【特別講演】
司会／李 文茹(淡江大学)
- シャマン・ラボガン(小説家)
大海に浮かぶ夢と放射能の島々
コメンテーター／高野 吾朗(佐賀大学)

12.13 [SUN]

- ▶10:00 - 12:40
【セッション2 原爆を視る】
司会／楠田 剛士(宮崎公立大学)
- 野坂 昭雄(山口大学)
原爆写真というメディアとく詩
- 紅野 謙介(日本大学)
「キノコ雲」と隔たりのある眼差し —戦後日本映画史における〈原爆〉の利用法
- マイケル・ゴーマン(広島市立大学)
「核の不安」から「核の無関心」へ
—アメリカのポピュラーカルチャーにおける核のイメージの変容
コメンテーター／岡村 幸宣(原爆の図丸木美術館)
鷲谷 花(早稲田大学演劇博物館特別招聘研究員)
- ▶14:00 - 16:40
【セッション3 冷戦文化と核】
司会／川口 隆行(広島大学)
- アン・シェリフ(オバリン大学)
核と自由 —1960-1970年代の日米における公民権／反戦／反核運動
- 山本 昭宏(神戸市外国語大学)
〈核のない平和〉と〈核による平和〉—冷戦期日本の平和論と安全保障論から
- 林 泰勲(韓国朝鮮大学校人文学研究院PD)
コリア核マフィアの始まり—雑誌『学生科学』(1965)を中心に
コメンテーター／市川 浩(広島大学) 高 榮蘭(日本大学)
- ▶16:40
閉会の辞(会議総括) 長野 秀樹
(原爆文学研究会世話人代表 長崎純心大学)